



広尾中学校

広尾中学校オリジナルキャラクター ひなたとミヨちゃん



○校長 川上 弘文 ○副校長 奥井 伸 ○教員数 15人
○創立日 昭和22年4月1日 ○所在地 渋谷区東4-13-25 (※)
※校舎建て替えに伴い、令和7年8月から仮設校舎（青山キャンパス：神宮前5-53-18）へ移転中
○URL <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1320118>

上記の教員のほかに、事務職員・用務職員など、様々な職員が学校運営に携わっています。

○卒業生徒数 18,642人

○生徒数・学級数 令和8年5月1日現在

学年	1年	2年	3年	合計
学級数	2	2	1	5
生徒数	52	47	27	126



教育目標

将来の変化を予測することが困難な時代に、自らの人生を切り拓き、生涯を生き抜く力を子供たちに培っていくことが求められていることを踏まえ、以下の教育目標を定めます。

- ◇自らの頭で考える生徒の育成
- ◇自分の人生をデザインできる生徒の育成
- ◇変革やチャレンジをし続ける生徒の育成

本校の目指す生徒像

- ・自ら主体的に学び続ける生徒
- ・他者と協働しながら価値を創造する生徒
- ・多様性を認め、社会に貢献する生徒

特色ある教育活動 アントレプレナーシップ教育

本校では、渋谷区の特色づくりプロジェクトの一環として、「アントレプレナーシップ教育」を新たな柱として位置付けています。この教育は「起業家を育てる」ことを目的とするものではなく、身近な課題に気づき、解決策を考え、仲間と協働しながら実行する、価値を創造する力を育成する学びです。失敗を恐れず挑戦する姿勢を大切に、すべての教育活動の中で「生徒が主体となって考え、行動する経験」を積み重ねていきます。

探究×アントレプレナーシップの一本化

本校の特徴は、探究学習とアントレプレナーシップ教育を一体的に進める点にあります。

テーマプロジェクトで社会課題を捉え、マイプロジェクトで個人の問いを深め、実社会での実践（販売・提案・企画）で価値創造を体験する。このような学びを通して、自ら未来を切り拓く力を持つ「未来の創り手」を育成します。

テーマプロジェクト（ 学年単位）

企業や地域と連携し、学年ごとに一年間かけて取り組む

第1学年： [三菱鉛筆](#)

第2学年： [DCM](#)

第3学年： [せいぼじゃぱん](#)

自ら地域や社会の課題を見だし、情報収集・分析・提案・発信までを行う

マイプロジェクト （個人探究）

生徒一人一人が自分の興味・関心に基づき、課題を設定して探究する

- ◇自分自身の問いを立てる
 - ◇情報を集め、深く考察する
 - ◇発表・共有を通して学びを深める
- 発表の機会を設け、他者の意見を受けて再考することで、より深い学びへとつなげる

これまでの特色ある教育 活動（継続）

従来の特色ある教育活動も、アントレプレナーシップと関連付けて発展させる

- ・はーとふる活動（人間関係づくり）
- ・キャリア教育
- ・体力向上の取組
- ・国際理解・多様性理解教育
- ・防災教育・地域協働活動
- ・広尾Ship（中高連携）
- ・ICTを活用した主体的・対話的な学び

主な行事【令和8年度版】

- 4月 前期始業式、入学式、新入生歓迎会、身体測定、保護者会
- 5月 中高連携交流会、修学旅行（第3学年）、校外学習（第1学年・第2学年）、体育祭
- 6月 進路説明会（全学年）、広尾Ship、前期中間考査、普通救命講習（第1学年）、はーとふるウィーク
- 7月 道徳授業地区公開講座、学校公開、三者面談（全学年）
- 9月 前期期末考査、生徒会役員選挙、区立中学校陸上大会（全学年）
- 10月 進路説明会（全学年）、中高連携体験授業（3年）、前期終業式、中学校連合音楽会、後期始業式
若木祭（合唱の部）、三者面談（第3学年）
- 11月 後期中間考査、生徒総会、広尾Ship、三者面談（第3学年）
- 12月 音楽鑑賞教室（第2学年）、TLD（第1学年）
- 1月 しぶやニュー 駅伝、若木祭（展示の部）、はーとふるウィーク
- 2月 移動教室、新入生説明会、学年末考査、小中合同展覧会
- 3月 校外学習（第3学年）、探求フェス、卒業証書授与式、修了式

修学旅行 体育祭 広尾Ship（都市型中高連携教室） 若木祭 新校舎2028年完成予定

広尾高校との交流 進路相談・プレゼンテーション・高校探検



令和7年度進路状況

	男子	女子	計
国立・高专	0	0	0
都立	10	10	20
私立	14	3	17
その他	1	0	1
計	25	13	38

※中高連携選抜により、広尾高校に入学した生徒4名を含む

- 【都立高】
- 王子総合高等学校 国際高等学校 桜町高等学校
- 神代高等学校 第一商業高等学校 晴海総合高等学校
- 日比谷高等学校 雪谷高等学校
- ※広尾高等学校（連携選抜）
- 【私立校】
- 青山学院高等部 岩倉高等学校 クラーク記念国際高等学校
- 駒込高等学校 駒場学園高等学校 星槎国際高等学校
- 下北沢成徳高等学校 自由ヶ丘学園高等学校 淑徳高等学校
- 第一学院高等学校 大東学園高等学校 中央大学杉並高等学校
- 東亜学園高等学校 東京実業高等学校
- 日本大学鶴ヶ丘高等学校 日本体育大学荏原高等学校
- 文化学園大学杉並高等学校 早稲田大学高等学院

部活動一覧

- 【運動部】
- 野球部
- ソフトテニス部
- バドミントン部
- 卓球部
- 【文化部】
- 吹奏楽部
- 美術部

自ら道を切り拓く！アントレプレナーシップ教育で「未来の創り手」を育む

先日、渋谷区教育委員会より発表されました通り、広尾中学校では、渋谷区が進める「区立中学校の特色づくりプロジェクト」において、「アントレプレナーシップ」を軸とした新しい学びを始動しました。

[渋谷区教育大綱](#)に掲げる『つくろう。ちがいを活かし合える、未来の学校』の実現に向け、各中学校が4つのテーマを軸に、独自のカリキュラム開発に着手します。

☑ 「アントレプレナーシップ」とは

「起業家を育てる」ことを目的としたものではありません。身近な課題に気づき、解決策を考え、失敗を恐れずに仲間と共に行動する。そんな「自ら価値を創造する力」を育むことが目的です。渋谷という多様性と活力に溢れた街を舞台に、自律的に未来を切り拓く精神を養います。

☑ しあわせメーカー広尾～自分のワクワクからみんなの笑顔へ～

やってみたいを社会実践できる学校。仲間・社会を幸せにする挑戦で、自分を好きになり、自分も幸せになるアントレプレナーシップというビジョンのもと、社会（多様な大人、企業）とつながることでアイディアをかたちにし、自分のやりたいことを明確にすることで、社会貢献に取り組んでいきます。

☑ 広尾中学校の生徒主体の取組

広尾中学校では、探究シブや未来科テーマプロジェクトとして、年間を通して学年ごとに企業と連携して学年や企業を越えたコラボ商品を販売する、地元百貨店協力のもとコーヒーの試飲会や募金活動を行う等、生徒の発案で仲間と協働して地域課題の解決に取り組んできました。また、標準服、体操着、私服のいずれかで登校できるカジュアルDays等を考案及び実践する等生徒会活動・委員会活動とも活発に生徒主体の学校運営に取り組んでいます。本校がこれまで力を入れてきた生徒主体の学校運営を、社会のリアルな課題に挑戦する、より実践的なプロジェクト学習へと進化させます。✱

学校説明会

令和8年9月19日（土）
11時から実施します！

✱
「自分の未来をデザインし、挑戦し続ける力を育む」
広尾中学校へようこそ！